

山添村義務教育学校グランドデザイン

山添村 教育目標～山添村の願い～

一人ひとりの個性を大切にし、

心身ともにたくましい「生きる力」を持った『輝く子どもたち』の育成



(確かな学力) : 基礎的な知識・技能を習得し、思考力・判断力・表現力を培う

(豊かな人間性) : 自律心、協調性や他人を思いやる心や感動する心など

(健康・体力) : たくましく生きるための健康や体力



目指す子ども像

「自分のいる世の中をよりよくできる子ども」



9年間の系統性のある教育活動

義務教育学校前期課程						義務教育学校後期課程		
1	2	3	4	5	6	7	8	9
習得・定着期				活用・発展期		自主・自立期		
○学習・生活リズムの定着 ○家庭での学習習慣の定着 ○基礎・基本の習得 ○他学年との交流を通じた社会性の育成				○学びをつなげ、いかす ○自己理解に基づいて、自律的に学習に取り組む態度の育成 ○学習課題の自己決定		○個性・能力の伸長 ○充実した進路選択のための進路指導 ○義務教育学校全体におけるリーダーシップの育成		

5年が支え、6年が引っ張り、
7年が見守り導く

系統性がもたらす**充実**

人間性・社会性
育成

9学年間で行う**異学年交流**により、人間性や社会性をより豊かに育成します。

- 縦割り班活動
- ふるさと学習（地域との関わり）
- 委員会活動
- 運動会など学校行事

一貫性のある
学習と指導

各学年段階の「学びの姿」を全職員で共有し、指導につなげることで、**子どもたちが安心して学べる環境**を作り、**学力の定着・向上**を目指します。

- 授業公開などによる授業改善や指導力向上
- 教科担任制による指導

個に応じた支援
拡充

児童生徒一人ひとりの教育的ニーズを全職員で共通理解し、**9年間を見通した系統的な支援・指導**を計画し、進めていきます。

- 特別支援教育における計画的・系統的な指導
- 進級や進学に伴うギャップの軽減